

## 「民生委員・児童委員活動の見える化プロジェクト」活動報告会

11月26日(日)、大阪府立大学I-siteなんばに、府内の民生委員・児童委員(本文中、「民生委員」)や大学生など約130人が集まりました。



学生(右奥)の発表の後、民生委員から、さまざまな工夫や準備を重ねて学生を受け入れた感想や学生に対する期待、発表へのコメントなどが語られました。

と意見交換を行いました。

学生から

このプロジェクトは、民生委員の活動を広く周知し、認知度向上と担い手確保をめざし28年度に引き続き府が実施したもので、29年度は府内16自治体および関西の10大学(参加学生数53人)の参画がありました。学生は民生委員活動の現場をインターンシップ体験することを通じて、地域福祉の現状・課題等を学び、地域活動への関心を高め、民生委員活動の意義や魅力を報告会で伝えました。

報告会では松井知事の開会あいさつの後、大阪府立大学の小野達也教授から「これからの大阪の地域福祉と民生委員活動」と題し基調講演がありました。続いて、参加した大学生が5グループに分かれ、地域力の向上を図る取り組みと学生目線のPR手法を提案し、インターンシップを受け入れた民生委員

民生委員から

魅力を感じることができた。自分自身も元気になること、頼られること、民生委員同士のつながりの中で活動していることが、やりがいにつながっていると感じた。無報酬だからこそ(踏み込んだ)活動ができる。\*学んだこと、知ったことをどんどん発信してほしい。\*若いうちから、地域の活動(民生委員活動)に参加してほしい。\*単位のためなどではなく、人を豊かにする経験としてボランティアをしてほしい。助けることも助けられることも学べる。

民生委員から

興味があっても知られていないのだと感じた。\*若いうちから、地域の活動(民生委員活動)に参加してほしい。

### マッセ・市民セミナー

## 「いのち」の話をしよう

ひとりぼっちを作らない、豊かな心の育み方を考える



12月6日、府社協と大阪府市町村振興協会は、若年層のいじめや自死が深刻さを増す中、子どもの支援に取り組む実践者を迎え、「いのち」をテーマにした研修会を開催しました。

大阪教育大学の新崎国広教授による基調発題では、社会的孤立や孤独感が高まる背景や、偏見と差別との違いについて説明があり、地域共生社会の実現に向けて、「自己完結型の自立ではなく、助け・助けられる関係の『相互実現型自立』」との提

起がありました。

続いて、NPO法人こどもの里理事長の庄保共子さんから、西成区釜ヶ崎で32年間続けている、子どもたちと共に野宿者への見守りや炊き出しを行う「子ども夜まわり」について紹介。子どもたちが野宿者との交流を通して成長し、「ありがとう」の言葉に自己肯定感が高まる様子から、「お互いを知ることの大切さ」「大人が子どもの純粋な気持ちに学ばされる」といった、活動の意義を話されました。



「支援者や大人にも自尊感情が大切」と語る左から新崎さん、HISAKOさん、庄保さん

### 中学生が地域の担い手に!

## 子ども福祉委員「夢かなえ隊」

阪南市桃の木台校区

子ども福祉委員は、校区福祉委員の「子どもにも地域の担い手になってほしい」という声からは始まり、阪南市社会福祉協議会(以下、社協)と校区福祉委員の呼びかけに応じた中学生12人(平成29年12月現在)が自主的に集まり組織化されました。

まずは、地域のお年寄りがどのような困りごとを抱えているのかを知るために、民生委員の協力のもと、お年寄りの家庭を訪問。自分たちができることについて試行錯誤を重ねました。グループ名を『夢かなえ隊』とし、民生委員や社協が窓口となって地域の困りごとに対し、まちの便利屋さんとして活動を開始しました。



Aさんの困りごとを耳を傾ける「夢かなえ隊」のメンバー

また、3人の対談では、異なる実践ながら、「相手に寄り添う」ことを大切にしている想い(根っこ)は同じであることを確認しました。

参加者からは、「子どもの力を信じることの大切さを学んだ」「多様な考え方があることを理解でき、自分の価値観を押し付けられないことが大事」等の感想があり、支援者として心がけたい視点や姿勢を共有する場となり、これからも心豊かな実践の広がり期待が寄せられます。

### 生命保険協会 大阪府協会

## 2社協に福祉巡回車を寄贈



11月27日、一般社団法人生命保険協会大阪府協会から太子町社協と豊中市社協へ福祉巡回車(計2台)を寄贈いただきました。

同協会山ノ井清也会長から「地域福祉活動推進のために福祉巡回車を活用してほしい」との挨拶があり、各社協からは「在宅福祉サービスや献血広報活動、ボランティア活動支援等に活用していきたい」との抱負が語られました。

今回訪問したAさんからは「昔みたいに、自分でスーパーに買い物に行き、商品を選びたい」といった声がありました。訪問したメンバーはAさんの願いを「夢かなえ隊」にもち帰り、早速ミーティングを開きました。買い物に同行するメンバーの



買い物に行きたいというAさんの夢を叶えてきました!